



第7回 市民懇談会を 開催しました！

第7回市民懇談会では、「参加と協働による取組みについて考える」をテーマに、19名の市民の皆さんと4名の市役所若手職員で話し合いました。

最初に、第2回～第6回の方野別市民懇談会を振り返った後、関心のある分野とその理由を自己紹介カードに書き、グループで紹介していただきました（p2～3）。次にグループで深掘りしたい3つの分野を選択し、それぞれ2つの重点プロジェクトを考えました。続いて、特に協働で取り組みたいプロジェクトについて具体的な内容を検討していただきました（p4～8）。全体の場で発表していただいた後、共感できるプロジェクト案にシール投票をし、感想カードを書いて（p9～10）、ワークショップを終了しました。

全体のまとめとなる最終回は、台風による日程変更の影響があったためか参加者が少なくなりましたが、皆勤の方も3名参加され、内容の濃い市民懇談会となりました。全7回の市民懇談会を通じて、多くの市民の方に「まちづくり」について考えていただけたことは、市政への関心をより高めていただくための良いきっかけになったものと考えています。

皆さん、ご参加ありがとうございました。

[市民懇談会 開催スケジュール]

- 1 7月13日(土) 13:30～16:00
「10年後に実現したい越谷の夢を考える」
- 2 8月4日(日) 13:30～16:00
「福祉、健康、子育てについて考える」
- 3 8月17日(土) 13:30～16:00
「都市計画、住宅環境、交通、公園について考える」
- 4 8月31日(土) 13:30～16:00
「環境、防災について考える」
- 5 9月14日(土) 13:30～16:00
「産業振興、観光について考える」
- 6 9月28日(土) 13:30～16:00
「教育、生涯学習について考える」
- 7 11月2日(土) 13:30～16:00
「参加と協働による取組みについて考える」

<第7回プログラム>

- ステップ1：はじめに
- ステップ2：自己紹介と検討テーマの選択
- ステップ3：テーマ別の重点プロジェクトを考えよう
- ステップ4：協働のプロジェクトを考えよう
- ステップ5：ステップ3と4の結果を発表する
- ステップ6：まとめ



共感できる案にシールで投票しました

自己紹介と検討テーマの選択

関心のある分野とその理由を自己紹介カードに書き、それをグループ内で紹介した後、グループで深掘りしたい3つの分野を選択しました。

「福祉、健康、子育て」分野

- 地区のコミ協、青少年指導員、小学校応援団等での活動とボランティアグループを結成して、介護施設等で運動指導をはじめとする（歌も）活動をしている。
- 高齢者の方々の、越谷市でのクレジット詐欺、行方不明の方がいらっしやるのがすごく気になったのがきっかけ。
- （+教育、生涯学習分野+環境、防災分野）私の住む桜井地区、その中でも上間久里が一番、高齢化が進んでいます。切実な困り事を抱えている人を、市と市民が協働で何か組織をつくり、安心して暮らしていける様、早急に考えたいと思っています。
- ①子育て=子育て世代 ②防災=近年の災害 ⑤環境=光化学スモッグがまだある ③教育=子供の教育、自分の生涯学習 ④参加=通勤族の参加について
- 2児の子育てにフントウ。生活の中心が子どもとなり、何を考えるにも子育ての事がありきで考えるようになっている。
- 日常生活と一番かかわる分野だと思うので。これからの少子高齢化社会への対策は必須であり、いろいろな方向から考え、施策を検討していく必要がある。子育て、健康寿命延伸など。

「都市計画、住宅環境、交通、公園」分野

- 都市の基本は都市計画と、その実行にある。高齢者の増加に伴い、福祉政策が重要。教育水準はその年のバロメーターである。今回のシリーズ「懇談会」は 1. mobilityが key word 2. 人の移動、物の移動を考えて参加した。
- 災害に強いまち、自然を活かすまち。
- 越谷市の理念として、だれにでもわかりやすいビジョンを明確にすることにより、これからのまちづくりを、だれでも意見を出しやすい環境をととのえる。
→多様化する社会への対応。

「教育、生涯学習」分野

- 質の高い教育を誰でも受けられるようになって、教育格差をなくしたい。
- 教育、誰が誰に何を指導させ、学習させるのか！成果の確認、実績は。PDCA手法、水平転回思考。
- 市民主体のまちづくりを進めるうえで、越谷市民の公民としての学習を強化、充実する必要がある。
- 教育（若い世代に伝える事を含めて。外国人含む）。今、小学生（6年生）は12才、10年後は22才前後。彼らにとって必要なことは「教育」のほかには無い。実行すべき項目（教育の内容）、実行推進組織（行政と市民のタッグを組む）、実行スケジュール（5年後にレビューを行ない、必要な時は修正する）。追加：選挙投票率のupも教育を通して実現。
- これからの未来をになう子ども達と異年齢がどうかかわり支援していくかと、高齢者も学ぶことを忘れず、身体を動かすことを忘れず、自分を生かして行くことが、子ども達を刺激し、伝承されていくと思う。年齢別では自然と伝わって行かない。

「環境、防災」分野

- 自然災害が深刻化する中、想定外を考える活動が必要と思われる。

「産業振興、観光」分野

- 郷土資料館の設立と宿場町通りの一本化。資料館→越谷の歴史。児童教育と外部者への案内。宿場通りの活性化。日光街道の通行者の交通安全化と電柱の地中化。50万人中核都市計画。企業誘致と学園都市化。

「その他」

「お年寄り、育児に優しい街作り」

- 生まれてから生涯、越谷市で安心・安全・自慢の出来る街にしていきたい。
「都市計画」「環境」「福祉」

「観光、交通、人口」

- 越谷に興味を持ってもらえるものがあれば何回でも来てもらえる。交通の便がよいと行きやすく感じるのでは。来る人を受け入れる体制が必要。実現すれば→人口増につながる、地域の活性化になる。

「グローバル人材育成」「国際交流」「環境保全」「地域のまちづくり」

- 埼玉県多文化共生キーパーソン、外国人案内ボランティアコーディネーター、国際交流協会所属（県、越谷市、都、港区）、市環境審議委員、スポーツボランティア（ラグビーワールドカップ、オリパラ）ボランティアリーダー。※協働によるまちづくり、人材育成、後継者育成



グループで選んだ検討テーマ

	1グループ	2グループ	3グループ	4グループ
「福祉、健康、子育て」分野	◎	◎	◎	◎
「教育、生涯学習」分野		◎	◎	
「都市計画、住宅環境、交通、公園」分野	◎		◎	
「環境、防災」分野		◎		◎
「産業振興、観光」分野	◎			
その他				◎



1グループ



2グループ



2グループ



4グループ

テーマ別の重点プロジェクトと協働プロジェクトを考えよう

グループで話し合い、それぞれの分野について2つの重点プロジェクトを考えました。その中から、特に協働で取り組みたいプロジェクトを1つ選択し、内容を考えました。発表を聞いて、良いと思った案にシール投票をしました（一人5票）



「福祉、健康、子育て」分野

【2グループ】

11票

<p>①子育て世代への支援</p> <p>[協働の具体的な内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無償化からもれが無い？国の方針以上を市として補てんする。 ・バス路線の充実。 ・街カフェを作る。 ・「ママ、出掛けてくるね」 ・あいさつできる安心なまちづくり。 ・保育施設の長時間預かり。 ・子育て若いママ、パパが保育所（数、時間）などで越谷から逃げたくならないですむには…どうしたらいい？ ・都心で仕事の若い人々が、越谷で住みつけたいと思えるには…課題を掘り下げよう。 ・介護、保育などの待遇改善。 <p>[協働の担い手]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域（家庭）⇄行政
<p>②健康寿命の仕組み作り</p> <p>[協働の具体的な内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジム、トレーニング施設。病院数up。

【4グループ】

11票

<p>①居場所作りのための空き家の活用</p> <p>[協働の具体的な内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の把握（市民）。 ・所有者調査（市民と市役所）。 ・所有者の説得（市民と市役所）。 ・法的解釈法（市）。 ・条例の制定が必要か？（市） ・空き家の活用（自治会館だけでなく）。 ・居場所づくり。 ・防犯、防災問題の解決にもつながる。 ・ネック、個人情報の扱いとなる。 <p>[協働の担い手]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支えあい活動支援団体と市。 ・所有者、自治会、市。
<p>②向こう3軒両隣精神の普及</p> <p>[協働の具体的な内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キズナづくり。 ・行方不明情報ネットワークづくり。

【3グループ】

9票

<p>①健康寿命の仕組み作り</p> <p>[協働の具体的な内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代間の交流の場を作る。 ・サロン。 ・持続可能な公共施設づくり。 ・街カフェ。 ・ラジオ体操。 ・ウォーキング。 ・民生委員の見守り活動。 <p>[協働の担い手]</p> <p>市： ・保健センター ・地域包括支援センター ・社協 ・福祉推進課 ・地域包括ケア推進課</p> <p>市民： ・こしがや市民活動連合会 ・自治会 ・管理組合 ・民生児童委員 ・地域ボランティア ・ボランティア連絡会</p>
<p>②多世代間の交流の場を作る（街カフェ）</p>

1
グループ



<1グループの発表から>

「都市計画、住宅環境、交通、公園」分野
 これからは面的な拡張は抑制し、今あるものを再整備して使いやすくすることに注力した方がよい。現状、通過車両と循環する車両が交錯して渋滞等が発生しているので、すみわけを考えた上で新たに必要なものを最小限で行う。また無人化コンピューター化が実現するので、自動車メーカー等と都市計画課で進めてほしい。誰もが容易に利用できるような都市計画整備が必要。



「教育・生涯学習」分野

【1グループ】

11票

①多世代間の交流の場と機会を作る

[協働の具体的な内容]

- ・各分野の得意なものを持っている団体、個人、市で話し合う。
- ・国際交流フェスティバルの活用。
- ・かかわり合えるイベントをつくる（物を売るだけではつながりが難しい）。
- ・駅前の既存施設やマンションの集会室を活用して、交流の場をつくる。
- ・市内のNPOと連携。
- ・地域、地域外、異世代がかかわり合える場（居場所）をつくる。

[協働の担い手]

- ・団体、市民（個人）、市
- ・越谷市+市民or企業（組合体）
- ・市、NPO、マンションなどの管理者

②外国人とのコミュニケーションによるまちづくり

【3グループ】

10票

①夢・魅力のある教育作り 学校応援団

[協働の具体的な内容]

- ・公民学習。 ・学校応援団。
- ・学校運営協議会の充実。

[協働の担い手]

- ・教育委員会(生涯学習課) ・お笑い、寄席
- ・PTA ・こしがや市民活動連合会

②縦社会を崩す!!自分の意見が通る教育作り

【2グループ】

11票

①学校・地域・家庭の連携

[協働の具体的な内容]

- ・学校と自治会運動会を行なう。
- ・地元（自治会）と学校が連携したイベントの開催。
- ・自治会のあり方見直し。
- ・役員決めの改正。選挙や推薦による決め方を撤廃。
- ・交流範囲が狭い。役員同士のみ自治会交流×
- ・教育を基本にして、選挙の投票率を上げる。最近時20%だった。50%に上げる方策。
- ・投票率70%につながる教育。
- ・広い地域で質の高い教育。
- ・小中(高)一貫教育の実現。
- ・教育機関の連携。
- ・図書館の充実。
- ・世代間交流。
- ・伝統文化の継承。資料館、博物館の設置。
- ・都心で仕事してる若いママ、パパたちは越谷に住み続けられるのか…。どうしたらいい…？
- ・子育て…全グループに入っている。共働きの若い父母→仕事は都心が多い→通勤時間が長い→保育時間の課題。
- ・若い人々を越谷へ→現実に越谷に住んでくれている課題。職と住が近くないとか。

[協働の担い手]

- ・家庭
- ・自治会

②法教育、主権者教育

「産業振興、観光」分野

イベントを作り、今ある施設を出来るだけ活用していく。教育的にも歴史資料館が必要なのではないか。また、市民への情報発信方法を考えた方が良い。実際、Cityメールを知らない方が多いので、市内の携帯会社に新規・登録のときにはCityメールアプリを必ず入れてもらう等の働きかけをすれば、気付きを生むきっかけになるのではないかな。

2022年、農地が規制解除され宅地が増えていく。余った宅地を1坪農地、サンデー農地にして、都心から人を招けば、観光資源にもなり得るのではないかな。

「教育、生涯学習」分野+「福祉、健康、子育て」分野

多世代間の交流の場と機会を作ることは外国人との関係でも非常に大切なことだと思う。各分野の得意なものを持っている団体、個人、市で話し合いの場を作る。こういった場づくりにも、今ある施設、駅前のスプロール化したような施設を積極的に活用して提供する。



「都市計画、住宅環境、交通、公園」分野

【1グループ】

10票

①循環型で乗り継ぎしやすいバス路線の整備 ～歴史・文化・景勝地をつなぐバス～

[協働の具体的な内容]

- ・今ある道路を使って拠点から拠点をつなげる方法。
- ・無人化コミューターに関する活用研究を都市計画課+自動車メーカーで行う+市民。
- ・誰でもが安価で利用できるシステムづくり。
- ・市内、近隣地図からどう路線を結ぶ、つなぐかを考えて行く。
- ・現状路線を通過車両と循環車両の路線に仕分けた上で、新規路線の整備。
- ・南越谷駅周辺の活性化。

[協働の担い手]

- ・(市)都市計画課、各地区にある主要な場所、各地区NPO、個人。
- ・交通、バス会社、企業、市、団体、世代間(子ども含む)。
- ・地元タクシー会社、中古車販売会社(大手)、車両修理会社。

②空き家のレボリューション

【3グループ】

9票

①公共交通網の拡充 (市内循環(ヒト・モノ)を運ぶバス)

[協働の具体的な内容]

- ・病院、買い物へのアクセス(バス)。
- ・サンシティ、民間施設のリノベーション。
- ・空家のリノベーション。

[協働の担い手]

- ・都市計画課
- ・バス会社
- ・コンサルタント会社への協力

②水(緑)と共に生きる～水の都こしがや～



3
グループ

<3グループの発表から>

「教育、生涯学習」分野

子どもに楽しく興味を持たせて、自主的にやらせることが教育の第一歩。母は愛情を、父は希望を、年寄りには知恵を子ども達に授けていこうということ。現状の縦社会を壊さないと、なかなか前に進まないと思う。

「福祉、健康、子育て」分野

健康寿命の仕組みについて意見を出しあった。健康センターや自治会の管理組合等、現状あるグループを使って良くしていく。これからは遺伝子工学をうまく活用した方が良いのではないかな。

「都市計画、住宅環境、交通、公園」分野

これからは公共交通の無人化が進むので、都市計画課とバス会社が協力し合って解決したら良い。

★先日の台風19号の際、いろいろなメディアで自主的に動いてくださいという話があった。私は16時から避難の用意をし、どこの避難所に行こうかと探したが、まずは電話が通じない。自治会長に聞いたら「自治会は市役所からの指導がなければ動けない」言われた。小中学校の施設は全部、封鎖された状態で、いかに我々は生きていけば良いのか。



「環境、防災」分野

【2グループ】

5票

①水と共に生きる 本気でSDGs

[協働の具体的な内容]

- ・自然環境の維持。
- ・市内の川で氾濫が予見される場所の河底ざらい。調整池を充実させる。
- ・水と共に生きる水の都こしがやとして、水とうまくつきあっていこう。
- ・本気でSDGs、やるならトコトン皆で取り組もう。
- ・サテライトオフィス。
- ・植物園の設置。
- ・市街化地域の増加。
- ・自助共助の意識づくり。
- ・避難施設の運営ルールやインフラの拡充。

[協働の担い手]

- ・行政

②避難所の充実

[協働の具体的な内容]

- ・施設運営の改善。避難所の充実。

【4グループ】

12票

①ハザードマップの普及と知る仕組みづくり

[協働の具体的な内容]

- ・ハザードマップ等、配布しているのがわかる仕組みづくり。
- ・市民が集まる場所で貼り出す（市+団体+市民）。
- ・貼り出した場で情報発信する（市+団体+市民）。
- ・認知度調査（市民+市）。
- ・避難箇所の確保（市、民間のビル等）。
- ・危険情報の把握（カメラ）方法の確立（市）。
- ・実際にリアルタイムな情報を共有。
- ・避難方法の周知法（事前の十分な訓練）（市と市民、自治会）。

[協働の担い手]

- ・自治会と行政
- ・市民と自治会

②増水対策を満たした土地開発

[協働の具体的な内容]

- ・首都圏外郭放水路のような設備を整える。

2
グループ



<2グループの発表から>

「教育、生涯学習」分野

やはり地域づくりが教育の基盤にあるので、自治会と学校と家庭が連携して社会的な子育て、地域で子育てをする関係が出来たら良いのではないかと。高校の時、埼玉大学の先生が来て、面白そうな分野の話をしてくれた。そうすると自分の将来のキャリアプランとか進学プランを自分で考えるようになるので、機関間の連携があっても良いと考えている。

「環境、防災」分野

将来的に選んでもらう町にするためには、やはり環境が大事だと思う。私は2～3年前に越谷に戻ったが、まだ光化学スモッグがあることに驚いた。水と共に生きる、SDGsということで、環境保全などをNPOと行政、地域の方と連携して整備することで環境を良くしていったら良い。

「福祉、健康、子育て」分野

4歳の子どもを育てていて、保育園で8時頃まで預かってくれると良いと思っている。うちは夫婦で東京でフルタイムで働いているので、意外に地域のことが分からないし、そういう人も多いと思う。そういう人達の窓口があれば、地域や行政とも連携できるのではないかと。

i 「産業振興、観光」分野

【1グループ】

9 票

**①来てもらえる場所、イベントを作ろう
～歴史資料館、にぎやかな商店街、歴史村、ホテル～**

[協働の具体的な内容]

- ・道の駅に温泉を併設する（ホテルも）。
- ・観光案内所の設置。
→蔵屋敷隣の旧物産販売所。観光協会？
- ・今ある魅力を各地、世界へPR。
- ・発信方法を考える。
- ・携帯電話会社にcityメールの案内を設置、登録してもらう。
- ・2022年問題による宅地増加の抑制として、農地を市民農園や1坪農地として活用。
→都内在住者へ。
- ・宿場通りの活性化。交通一本化、電柱地中化（下）。

[協働の担い手]

- ・郷土歴史資料館。御殿跡（会田家？）。
→地元の建設会社、NPO。又は道の駅（ホテル企業）。
- ・市と携帯電話会社
- ・農地の件 地主+越谷市

**②新規就農者・サンデー農従者が集まるまち。
一坪農地。**

★ 「30年後の越谷の町づくりをすすめていく次世代のリーダーの育成」

（若手プロジェクトチーム
役所6名市民6名で12名のチームを作成）

【4グループ】

4 票

①実行、実践部隊づくり

[協働の具体的な内容]

- ・自治会組織の事務局で学習する。
- ・越谷の町について勉強する（特に財政）。
- ・実行、実践部隊となる。
- ・高齢者と若手のつなぎ役。
- ・若い人達の声がちゃんと届く仕組みづくり。

[協働の担い手]

- ・市民と行政で企画運営と、それを聞く組織、機関との関係づくり←副市長会等

②越谷の町について勉強する



**4
グループ**

<4グループの発表から>

「福祉、健康、子育て」分野

居場所について、自治会館等で確保されているが、これから足りなくなると思うので、空き家を活用できないか。空き家を把握し所有者を調査して説得する、この時にネックとなるのが個人情報扱いだと思ふ。これが解決できれば防犯、防災上の問題も解決できるのではないかと。

「環境、防災」分野

協働でできるものとしてハザードマップの普及と知る仕組み作りを取り上げた。この間の水害時、実際の危険箇所をどこまで市が把握していたのか。市が情報を把握するためのカメラを設置し、リアルタイムな情報と避難の周知が必要。

「30年後の越谷の町づくりをすすめていく次世代のリーダーの育成」

日本が大きく変わる今、世代交代が必要だと強く思っている。私は、次世代の若手育成のプロジェクトチームを作り、座学ではなく何かやる中で若手を育成していきたい。私が手足となって市や自治会と連絡を取る役割を自ら果たし、市の活性化をしていきたい。

ワークショップの感想と「感想カード」

7回全てのワークショップに参加した3名の方から、感想を一言ずついただきました。その後、ワークショップに参加して感じたことなど、自由に感想カードに記入していただきました



全7回参加した方からの感想

ワークショップの会場に入るまで、どういうディスカッションをしてどういう結論に持っていくかがなかなか分からない毎回でしたが、皆さんとディスカッションすると、だんだん結論が見えてくる。やはり皆さんと語り合うことによって物事は進んでいくと感じました。そういう意味でこの7回は非常に勉強になりましたし、皆さんにも何か、お役に立ったかなと思っております。

これからも越谷市政に大に関わりたと思います。我々市民がディスカッションした内容を市政に取り入れていただき、将来の越谷市が安心、安全なまちで、将来も住みたいまちに発展していく将来を夢見ております。



私は第1回目だけ参加するつもりでしたが、参加してみたらちょっと面白く、2回目参加してみたら大変面白くと思い、7回参加しました。知らなかったことが、皆さんからいろんな情報をいただいて、すごい勉強になったというのが正直な感想です。ここでみんなで考えたことを、これからの市政に活かしていければ大変有難いと思いました。



毎回、面白い話し合いが出来た。個性のある人ばかりで、別の言い方をすると普通ではない人が集まっていると感じていますが、そういう集まりが大事だと思います。意見を出し合い、自分と他の人の思いのギャップをどう楽しめるか、建設的な意見を言い合えたというのが実感です。こういう場を続けていろんな意見を言って、お互い尊重しながら越谷市を育てていきたいと思っております。



感想カード

これからも関わっていききたい

- 今日の集まりは、私にとっての新しい第一歩となりました。これからも越谷市に積極的に関わり、自慢の出来る街作りに貢献出来ればと思います。
- とにかく若いファミリーのご夫婦の為のニューコしがやづくりがテーマ!?こども教育はPTAにパパが活躍すれば解決できる事、多くあると考えます。都内企業に勤めるこしがやパパがんばれ!!子育てママが子ばなれできた時に、こしがやマダムになれるまちづくりに期待したいです。上記等に向けて、私も微少ですが協力できれば幸いです。
- 第2回から出席して、若干の市役所のメンバーと知り合い、能力のある役所の方々とは知り合えたことが1番大きな成果でした。このような活動が継続していければいいなあと思いました。

ワークショップの進め方

- これまでの回で出された意見のとりまとめをもう少し行ない、的をしぼるべきと思います。2時間の議論で同じことを繰り返す、時間のムダが生じた様に感じました。第7回の最終回(今回)でまとめが出来る様にすべきだった。事務局のリードが不足している。→具体論を詰める段階である。
- 懇談会において、PDCA手法取り入れ、水平転回の実施、大人がもっと真剣に取りあつかうべきでしょう!
- 一市民としての自覚を持つ意味から、本日の方法は良い方法だったと思う。話し合った全体を通して感じた事は、自分の考えていることをほかの人に理解していただく事の難しさ、他の人の意見に受け入れられないような事もありました。今後の対応方法として、考えておきたいと思っております。

勉強になった、有意義だった

- 大変勉強になりました。
- 出席のみなさんの熱心な思いと発言に感動しました。
- さまざまなご意見を拝聴し、参考になりました。同じ志の方が多数いる事が分かり、安心もしました。
- 初参加でしたが、とても有意義でした。もっと具体的に地域の課題を考えてみようという切欠になったと思います。図書館の蔵書を増やしてください！（専門書、学術書を中心に）
- 自分で出来ること、小さなことからでも行動してみようと思う懇談会でした。とても参加された方々が、越谷愛のある方々の会で、有意義な時間をいただけました。ありがとうございました。
- 都市（越谷市）造りに関心が持てるようになった。懇談会参加者とのコミュニティ（懇親）には積極的になれなかった。より理解を深めるためにも、全日程に参加しておくべきだった。

今後に期待したい

- 最終回なので、多ぜいの方が参加するのかなと思っていましたが、少ないのには残念に思いました。ただ越谷市の将来を考え、一生懸命アイデアや意見を出し合って、何日間を過ごす事が出来て、良かったと思います。皆で話し合った事を、今後の越谷市に生かしていただければと願っています。
- 市民懇談会のまとめとして本日参加させて頂き、良いあたま出しにはなったのではと思います。ありがとうございます。今後の素案策定に対しては、住まう人のためになっているのか！ということが大切です。
- 今回、7回の話し合った結果がどのように反映されるのか、楽しみにしております。
- 7回出席しての私の夢です。越谷市は人口減にもかかわらず、中核都市として活発に活動している。街並は電柱が地下に埋れ、一方通行の道路をA1バスが走っている。高齢者をはじめ、多くの市民が利用し病院、買いものに利用している。スーパー健康長寿者もふえた。空は澄んでいて、住環境もすばらしい良い街だ!!

若手職員の感想

- 普段は、なかなか経験することのない、子育て世代と現役引退世代が意見を交わす場に参加することができ貴重な経験となった。様々な意見が出されたが、手助けを必要とする子育て世代や教育現場に対して、地域で活動されたい現役引退世代をどのようにマッチングしていくかが課題の一つであると感じた。
- 次世代を見すえた想い、考えをお聞きする事ができ、大変勉強になりました。
- 若者まちづくり懇談会にも参加したが、その際とはだいぶ異なり、皆さん積極的に意見を出して、活発な話し合いをすることができた。それぞれの考えを大変興味深く聴かせていただいた。印象的だったのは、お金を使って新規につくるのではなく、既存のものをいかに生かすかという視点で考えていただいたことです。
- ワークショップでは皆さんから大変熱い意見が出ていました。どの意見もしっかりと調べた結果出されていたように思えて、大変勉強になりました。



発行：越谷市 市長公室 政策課
TEL：048-963-9112/FAX：048-965-6433
都市整備部 都市計画課
TEL：048-963-9221/FAX：048-965-0948